

「中国における会計の基礎と実務」— 基礎から重要論点まで

中国における会計実務の特徴、会計関連法規と規程内容、勘定項目の体系、企業会計制度に基づく会計処理、企業会計制度と企業会計準則との相違点、財務諸表の見方、日本の親会社との連結に際しての留意点等々、中国の会計実務に精通している三戸俊英氏による詳細解説

開催日：2013年 10月23日（水）13：30～16：30 会場：東京・東宝土地会議室

講師：三戸俊英氏 公認会計士 税理士法人キャスト

講義内容 13：30 ～ 16：30

1. 中国における会計実務の特徴と概略

- (1) 簿記と会計の関係の原則と確認
- (2) 出納と記帳の分担
- (3) 会計従事者資格が必要
- (4) 会計業務ができる人材は
- (5) 会計担当者が不在の場合
- (6) 発票（Fapiao）の意義
- (7) 会計の電算化について
- (8) 帳簿の月次締切
- その他

2. 中国における会計関連法規とその主要な規程内容

- (1) 中華人民共和国会計法
- (2) 企業会計準則 — 一般準則
- (3) 企業会計準則 — 具体準則
- (4) 企業会計制度
- (5) 会計基礎業務規範
- (6) 会計文書管理弁法

3. 企業会計制度に基づく勘定項目の体系

4. 企業会計制度に基づく会計処理

- (1) 減価償却費の計上
- (2) 土地使用権の会計処理
- (3) ファイナンスリース賃借固定資産の未払金計上
- (4) 固定資産の購入建設
- (5) 商品販売収入の認識
- (6) 発生主義と発票主義の調和
- (7) 工事契約収入及び費用の認識
- (8) 契約完成進度の計算
- (9) 不動産開発収入の認識
- (10) 減損会計の採用
- その他

5. 企業会計制度と企業所得税法実施細則との比較

6. 企業会計制度と企業会計準則との重要な相違点

- (1) 企業会計制度の適用対象
- (2) 企業会計準則の適用会社
- (3) 主な相違点
- (4) 企業会計準則の欠点について

7. 企業会計準則と国際財務会計基準（IFRS）との主要な違い

その他 財務諸表の見方と経営管理資料、日本の親会社との連結の留意点

<Q&A> Q&Aの充実により参加者の方々の問題解決を目指します

「中国における会計の基礎と実務」(10月23日) 申込要領

ご参加料金	1名 29,000円(資料代、消費税を含む) 1社複数名お申し込みの場合、お一人当たり26,000円に割引
申込先	マネジメント・トレーニング・センター 〒102-0073 千代田区九段北1-6-1 アビオ九段6F 電話：03-6427-8040
申込方法	電話、ファクシミリ または、電子メールにてお申し込み下さい。 お申し込み受け付け次第、以下の書類をお送り致します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「受講票」：会場地図が記載されています。 ・「ご請求書」：お支払いは、銀行振り込みでお願い致します。 ・あらかじめ「質疑」のご用意がございましたら、同封書類の「事前の質問事項」記入欄をご利用いただき、ファクシミリでお知らせ下さい。
FAXでのお申込	下の申込書に所要事項ご記入の上、 03-6427-8045 に送信して下さい。
電話でのお申込	03-6427-8040 にお電話下さい。
電子メールでのお申込	E-mail: kawanabe@bh.mbn.or.jp ①申込セミナー名 ②貴社名 ③住所 ④電話番号 ⑤FAX番号 ⑥所属・役職 ⑦お名前 を送信して下さい。

「中国における会計の基礎と実務」(10/23)・申込書

お申込年月日 年 月 日

貴社名		TEL	
ご住所		FAX	
ご所属 お役職	(ふりがな) お名前		
ご所属 お役職	(ふりがな) お名前		

ご記入いただいた情報は、当センターの事業ご案内の送付に利用させていただく場合がございます。何卒ご了承くださいませ。

Management Training Centre